

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	環境科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	准教授	増田 泰三		
専門分野	植物栄養環境学			

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	環境植物土壌学	分析化学実験(木曜日)	環境学実験(集中)
(大学院)	環境土壌圏科学		
(2)教育関係特記事項	特に無し。		

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	Calcium-promoted catalytic degradation of PCDDs, PCDFs, and Coplanar PCBs under a Mild Wet Process. Mitoma Y, Tasaka N, Takase M, Masuda T, Tashiro H, Egashira N, and Oki T, 40, 1849-1854. Environ. Sci. Technol,	平成18年
	Novel mild hydrodechlorination of PCDDs, PCDFs, and co-PCBs inside fly ash using a calcium-promoted rhodium carbon catalyst in methyl alcohol. Mitoma Y, Takase M, Masuda T, Tashiro H, Egashira N, Oki T. 3, 215-218, Environ. Chem.	平成18年
	藤田 泉・猪谷 富雄・増田 泰三・新美 善行 2008: 日中国際学術交流による広島県の地域振興の可能性・広島県立大学と四川農業大学の学術交流を通して. 19, 2, 73-93, 広島県立大学紀要,	平成20年
(2)著書		
(3)学会発表等	ペレット堆肥による土壌保全と作物品質改善, 正岡淑邦・小幡真弓・増田泰三、日本草地学会誌51巻別号, p466-467.	平成17年4月
	Mitoma Y, Takase M, Masuda T, EgasDechlorination of dioxins in fly ash using metallic calcium method under mild conditions. hira N and Oki T. Abstract of 11th Asian Chemical Congress, p.219.	平成17年8月
	金属カルシウムを用いた有害ハロゲン化合物類の脱ハロゲン化反応(9)焼却飛灰中金属成分の溶出についての検討. 小幡真弓・増田泰三・田代秀樹・三苦好治・江頭直義・隠岐貴史. 日本化学会第86春季年会2006予稿集, 2PA-054.	平成18年3月
(4)工業所有権等		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	1件
	科学研究費補助金(分担)	件
	その他外部資金	3件
(6)研究関係特記事項		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	平成19年度広島県学校農業クラブ県大会及び第58回日本学校農業クラブ全国大会意見発表会の審査委員	H19.4～H20.3
(2)公開講座等		
(3)地域貢献特記事項		

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	庄原地域連携センター運営委員会委員 就職委員	学生相談委員 将来構想ワーキンググループ委員
(2)大学運営特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。